



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー2590地区

KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

川崎麻生ロータリークラブ

会長 青戸 慶太

幹事 中山 隆弘



大矢 紀

第 1450 回 例会記録 2024 年 4 月 26 日 (金) S.A.A.委員長 長瀬 敏之

- 【開会点鐘】 青戸 慶太 会長
- 【S. A. A】 志村 幸男 委員
- 【例会会場】 琴平 会館
- 【ソング】 ローターソング『四つのテスト』
- 【会長報告】 青戸慶太 会長



志村幸男 SAA 委員

青戸慶太 会長

中山隆弘 幹事

1. ガバナー事務所より、

○米山奨学生宛の『Create Hope Day(クリエイトホープデイ)』開催のご案内が届いております。

6月23日(日) 9:20~15:30 曹洞宗 大本山總持寺 登録料 3,000 円 ※米山奨学生タクテン様にご案内済み

○次年度ガバナー公式訪問関連資料が届いております。

※ガバナー公式訪問日 8月23日(金)

○地区インターアクト委員会より、国内研修報告書(冊子)が届いております。

○樋口ガバナーと長戸ガバナーエレクトより、大阪・関西万博PRチラシと入場チケット申込書が届いております。

2. 川崎・しんゆり芸術祭実行委員会より、『第4回実行委員会摘録』が届いております。

【幹事報告】 中山隆弘 幹事

★例会変更 ◇川崎西北RC ・5/2(木) 休会

・5/26(日)~5/27(月) 一泊移動例会『親睦旅行』

福島県母畑温泉 ・5/30(木)休会 ◇川崎大師RC



鈴木豊成 出席副委員長



梅澤馨 ニコニコ委員長

【お願い】『台湾東部地震被災地支援』の募金箱を設置しております。本日が最終となりますので、ご協力をお願いいたします。 ※先週(4/19)募金金額:17,000 円

【出席委員会】 鈴木豊成 副委員長

例会	会員	出席	欠席	修正	出席率
1450 回	26	18	8		69.2%
1449 回	26	18	8	4	84.6%
1448 回	26	20	6	5	96.1%

【委員会寄付】

委員会	第 1450 回(件数)	合計
ニコニコ委員会	15 件	¥15,000

【ニコニコ委員会メッセージ】 梅澤馨 委員長

◇大野勉会員【今週の月曜日、川崎とどろき RC にメークしました。13 人でした】

◇木村良三会員【佐々木会員、少年野球部への飲み物ご恵送有難うございます】

◇志村幸男会員【境内ツツジが綺麗です】

◇青戸慶太会長 ◇宇津木茂夫会員 ◇梅澤馨会員

◇圓城寺広明会員 ◇親松明会員 ◇梶俊夫会員

◇佐々木範行会員 ◇鈴木昭弘会員 ◇鈴木憲治会員

◇鈴木眞一会員 ◇鈴木豊成会員 ◇長瀬敏之会員

以上、ご協力ありがとうございました。

- 第 1 4 5 1 回例会 5月10日(金) 5大奉仕委員長「次年度に向けて」 ホテルモリノ
- 第 1 4 5 2 回例会 5月17日(金) 誕生日当日賞例会 レストラン「ミラフォレスタ」
- 第 1 4 5 3 回例会 5月24日(金) 招聘卓話 琴平会館

[例会日] 第1・2・3・4 金曜日 12:30~13:30 [例会会場] ホテルモリノ新百合丘 7F TEL: 044-953-5111

※第5 金曜日 休会 連絡先: 川崎麻生ロータリークラブ事務所 TEL: 044-951-1322

【米山奨学生カウンセラーのオリエンテーション報告】

宇津木茂夫 カウンセラー

4月20日(土)、横浜の「ホテルプラム」で行われた2024年度米山奨学生カウンセラーのためのオリエンテーションに参加しました。2024年度、当クラブがお世話する米山奨学生と初めて対面しました。今回は5月10日から例会に参加します。奨学生の出身は中国、前回の王さんと同じ日本映画大学に通学されています。名前は長いので、後日お知らせしますが、省略すると、「タクテンさん」です。以下は、カウンセラーハンドブックから抜粋したものです。



あなたは大丈夫？

ハラスメントの重要性

奨学生に接するカウンセラーは、奨学生の信頼を裏切らないよう、パワーハラスメント、セクシャルハラスメントなどには十分に気を付けて注意を払ってください。ハラスメントの事例が発生した場合、公益財団法人として、関係者、関係団体からの信頼を失い、次の奨学生支援に影響を及ぼすこともあります。また、ロータリー会員の皆様は、ロータリーを代表して、奨学生と学友と接していますので、ロータリーのイメージを損なう事にも繋がります。団体としての損失だけではなく、そのことによって、ご自身も人望や信頼を失うかもしれません。ハラスメントは、誤解から生まれる場合もあります。出身国や家庭の習慣、宗教的な事由によって、飲食を禁じられたり、飲酒の場に慣れていない場合もあります。信仰や戒律の厳しさにも個人差がありますので、普段から習慣の違いについて確認をするなど、奨学生との間で誤解のないように相互理解を心掛けてください。カウンセラー以外の会員にも周知徹底し、不適切な言動に誰かが気付く注意できる環境をつくってください。その場で謝罪することにより、大きな問題になる前に解決されることもあります。また、奨学生は、奨学金をもらっている間は、奨学金を打ち切られることを恐れて、我慢してしまうことがあります。困ったことがあれば、カウンセラーや他のクラブ会員など、クラブ内で相談しやすい環境づくりをお願いします。

あなたのハラスメント理解度チェック

該当すると思われる項目にチェックを入れてください。

- あまりセクハラにこだわり過ぎると、クラブの雰囲気が悪くなると思う。
- クラブで一番若いし、奨学金をあげているのだから、家族会などでお酌をするのは当然だ。
- 冗談で言っているのに、セクハラだ、卑猥な言葉だと不快に思うのは過剰反応だ。
- ハクをしたり、肩を抱いたり、腰に手を回すことは親近感の表れで、それくらい良いと思う。
- 「男(女)なのだからもっと男(女)らしくした方が良い」とアドハイスしたことがある。
- 一人暮らしが心配なので生活状況をちゃんと把握しておきたい。
- カウンセラーとして、何度も電話をしたり、メールを送って奨学生の行動を全て把握したい。
- 似合いそうだったので、好みの服装(浴衣、民族衣装、コスプレなど)を着て欲しいと強要した。
- ロータリーと研究とどちらが大事なのか、と強く二者択一を迫った。
- 奨学生の悪い印象を、周囲の人に言った。
- 疲れている様子だったので肩をもんであげた。これもコミュニケーションの一つだと思う。
- 異性の奨学生に対して、落ち込んでいたので手を握って励ましてあげた。
- 心配だし、異性関係について聞くのは必要な情報交換だと思う。
- 奨学金を出してあげているのだから、もっとロータリーに尽くして欲しい。
- 「女性なのだから、化粧くらいはできるようになった方がいい」とアドハイスした。
- 奨学金を出しているのだから、プライバシーに関係なく経済状況を調べ上げるべきだ。
- 「男のくせに根性が無い。昔の男は、もっと本根が……。」くらいはいつて良いと思う。
- 見た目と性別が異なって見えることに対して本人に聞いてみたし。

チェック結果

いかがでしたか？理解度チェックの項目は、実際には奨学生との関係性や、具体的な状況によって、絶対にハラスメントになるとは限りませんが、ひとつでもチェックを入れた項目があった場合は、普段から気を付ける必要があります。それぞれの項目が、なぜ、ハラスメントとして問題があるのか考えてみましょう。ロータリーは、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、障害、宗教、信条、文化、性別、性的指向などあらゆる背景の人に、平等に接しなければいけません。性的マイノリティの人に対しても不快感を抱かせる言動はしてはいけません。



あなたの何気ない言葉がハラスメントになるかもしれない…

◆パワーハラスメント

「お金を出してやっているのだから…」、「自分は、社会的地位が高いんだ…」といった高圧的な接し方をすると、パワーハラスメントになる場合があります。

◆セクシャルハラスメント

「飲んだ席で思わず…」、「夜間例会で、お酒が入り…」、「写真撮影の時に肩を抱き寄せる…」、「外国人だからと思って、親しみを込めてハグをする…」、「足が綺麗だねと褒める」などは、セクシャルハラスメントになる場合があります。セクシャルハラスメントに関しては、カウンセラーと奨学生が異性の場合は特に、不必要に二人つきりになる状況なるべく避け、無用な誤解を生まないようにしましょう。

「そんなつもりはない」は通じません。相手が不快に感じたら、それは「ハラスメント」になる恐れがあります。ハラスメントとは何かを認識することが、最も有効な防止策です。重要なことは、相手の人格を尊重すること。多様性を認めること、異文化を理解する姿勢です。

ハラスメント事例が起きたら…

★RIの危機管理方針は ZERO TOLERANCE(容認なし)です。

状況を把握し、奨学会と地区米山奨学委員会へ必ず報告してください。ハラスメント事例については米山記念奨学会と地区との間の業務委託に係る覚書に基づき、米山記念奨学会と各地区委員会、危機管理委員会が情報を共有し、共同して解決に当たります。ハラスメント事例が発生したにもかかわらず、必要な報告を怠った場合は、ロータリー章典の「会合、行事または活動におけるハラスメントのない環境」(26.120)に基づき、RIからクラブの終結などの制裁を受ける可能性があります。

危機管理について

米山奨学生は、日本語ができ、日本の生活に慣れている人がほとんどですが、それでも避けることや防ぐことが難しい場合があります。事件や災害に備えることも危機管理として必要なことです。

自然災害	地震、津波、台風、落雷ほか
健康危機	感染症(インフルエンザを含む)、食中毒ほか
重大事故	火災、交通事故、学校での事故ほか
重大事件	盗難、テロ、ハラスメント事例、事件を起こす(加害者になる)、犯罪に巻き込まれる(被害者になる)ほか

◆ リスクマネジメント	… 危機を未然に防ぐ
◆ クライシスマネジメント	… 被害を最小限に食い止める
◆ アフターケア	… PTSD などへの対応

具体的な対応策

- ・クラブの中では、日頃から連絡網を整備しておく。カウンセラーだけでなく、複数の会員の連絡先を奨学生に通知。万が一のために、必要に応じて奨学生の母国の連絡先や配偶者、パートナーの連絡先を緊急連絡先として確認しておく。
- ・学校と地区委員会の危機管理体制を確認しておく。学校や地区の担当者の連絡先を確認する。
- ・日頃から信頼関係を築き、話しやすい環境づくりをする。
- ・不慮の事故や病気などで学校へ行けない場合など、奨学金の支給や奨学生の資格に関わることは、奨学会事務局へご相談ください。

III 奨学生の個人情報に関する取り扱い

米山記念奨学会は数多くの奨学生・学友、ロータリー会員の個人情報を取り扱っています。そのため、個人情報の保護に関する法律に基づき、「個人情報の保護および管理に関する規程」を制定し、各地区にも同様の規程の作成をお願いしています。地区やクラブでも奨学生・学友の個人情報を取り扱うときは、その取得・保管・開示に関して十分な配慮をお願いします。

米山記念奨学会では、奨学生から取得した個人情報(氏名、携帯電話番号、メールアドレスなどの連絡先)を、ロータリー活動に必要な際にロータリー関係者(ロータリー会員、ロータリー関係事務所)に提供することについて、奨学生から「個人情報開示に関する同意書」にて同意を得ています。

こんなことにご注意ください！

■事例1 一緒に写真を撮ったので、FacebookやInstagramに投稿したい。

→ SNSへの投稿は、世界中への発信となります。慎重に行ってください。

■事例2 レポートや手紙の内容に感動。週報、月信、SNS等に掲載したい。

→ 必ず本人の了承を得て掲載してください。写真などは特に注意してください。

■事例3 個人情報や顔写真などを掲載した名簿(冊子)を作りたい！

→ 必ず本人の了承を得てから作成してください。

■事例4 世話依頼時の申込書類送付

→ 慎重に取り扱い、コピーはやむを得ないときに限るなど、厳重な管理をしてください。

※鈴木憲治会員コメント；資料にある「そんなつもりはない」は通じません。そのことについて話がありました。退会につながる場合があります。十分にご配慮ください。



【四つのテスト】 宇津木茂夫 会員

【閉会点鐘】 青戸慶太 会長

【会報委員会】 碓井美枝子 委員長

写真：宇津木茂夫 副委員長

